



2026年3月27日

各 位

会 社 名 株式会社 ストレージ王
代 表 者 名 代表取締役 荒川 滋郎
社 長 執 行 役 員
(コード番号：2997 東証グロース)
問 合 せ 先 管理部次長 長峰 健吾
TEL. 047-314-1981

財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり株式会社みずほ銀行をアレンジャーとするシンジケートローン契約を締結することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 資金借入の理由

当社は、本年1月20日に発表した中期経営計画を踏まえ、収益基盤強化のため、長期資金の借入を行うこととなりました。本借入により開発資金の機能的かつ安定的な資金調達を図り、コンテナ型トランクルームの自社保有化により運営管理事業による収益（ストック型収益）の強化を図ります。

2. シンジケートローン契約の概要

(1) 形式	コミットメント期限付タームローン
(2) 総借入限度額	800 百万円
(3) 契約締結日	2026年3月27日
(4) 契約期間	2026年3月27日～2035年3月27日
(5) コミットメント期間	2026年3月27日～2027年3月26日
(6) 適用金利	基準金利＋スプレッド
(7) アレンジャー兼エージェント	株式会社みずほ銀行
(8) 参加金融機関	株式会社みずほ銀行、株式会社千葉銀行、東京東信用金庫

3. 金銭消費貸借契約に付される財務上の特約の内容

- ① 2026年1月期決算以降、各年度の決算期の末日における連結の貸借対照表上の純資産の部の金額を2026年1月期決算末日における連結の貸借対照表上の純資産の部の金額75%および直前の決算期末日における連結の貸借対照表上の純資産の部の金額の75%のいずれか高い方の金額以上に維持すること。
 - ② 2026年1月期決算以降の決算期を初回の決算期とする連続する2期について、各年度の決算期における連結の損益計算書に示される営業損益が2期連続して損失とならないようにすること。なお、本号の遵守に関する最初の判定は、2027年1月期決算及びその直前の期の決算を対象として行われる。
 - ③ 2026年1月期決算以降、各年度の決算期の末日における連結の貸借対照表にもとづき以下の計算式で算出されるネットデット・エクイティレシオを2.5倍以内に維持すること。
(計算式)
ネットデット・エクイティレシオ = (有利子負債(長短借入金及び社債の合計値) - 現預金) ÷ 自己資本
 - ④ 2026年1月期決算以降、各年度の決算期の末日における連結の貸借対照表および損益計算書にもとづき以下の計算式で算出されるネット・レバレッジ・レシオを9.0倍以内に維持すること。
(計算式)
ネット・レバレッジ・レシオ = (有利子負債(短借入金及び社債の合計値) - 現預金) ÷ EBITDA (営業利益及び減価償却費の合計値)
- ※ ③および④の計算式において、令和7年8月26日付劣後特約付金銭消費貸借契約証書により調達した資本性借入金2億円については、有利子負債から控除し純資産(資本性借入金を含む。)とみなす。また、今後の資金調達のうち金融庁監督指針にもとづき例示されている償還条件、金利設定、劣後性等の観点より資本類似性が認められる資本性借入金については同様に有利子負債から控除し純資産(資本性借入金を含む。)とみなす。

4. 今後の見通し

本件は、2026年3月16日に開示しました2027年1月期通期の業績予想に織り込んでおります。今後、開示すべき事項が生じた際には、速やかにお知らせいたします。

以上